



50歳以上の男性は

PSA検査を受けましょう



副病院長 泌尿器科部長

おおつか あつし
大塚 篤史

人間ドックや健康診断の際に、50歳以上の男性は「PSA検査」を推奨されています。PSA検査って何？と、聞き慣れない検査に疑問を持つ方も多いのではないのでしょうか。

PSA検査は前立腺癌の早期発見を目的に行われる血液検査であり、前立腺癌の有無を比較的高い精度で予測することができます。

「PSA」は、「Prostate Specific Antigen」(前立腺特異抗原)の略称で、男性にのみ存在する前立腺から分泌されるタンパク質のことです。前立腺癌の発症初期には一般的に自覚症状はでません。そのため、自覚症状がある前にこのPSA検査を行って、早期発見につなげることができます。

前立腺は生殖に関わる臓器であり、膀胱の下で尿道を取り囲むように位置するクルミくらいの小さい臓器です。この前立腺から発生してくる癌が前立腺がんです。

国内における前立腺癌の患者数は増加の一途をたどっています。現在は、すでに肺癌や大腸癌の患者数を超え、男性では一番多く診断される癌となっています。食生活や生活習慣の欧米化が、その急激な増加の主な理由と考えられています。

前立腺癌は、早期に発見できれば色々な治療法を選択することが可能ですし、早期治療により生存の見通しも良好であると言われています。そのため、いかに早い段階で前立腺癌を発見し、治療につなげていくかが重要となります。わずか一本の採血で済むPSA検査を、年一回ぜひ受けるようにしましょう！



ご存知ですか？

化学物質過敏症

健康増進課

TEL 0538-37-2013
FAX 0538-35-4586

化学物質過敏症とは

わずかな化学物質に対して過敏症状を示し、頭痛、めまい、吐き気などの症状が現れる疾患です。症状を誘発するものとしては、殺虫剤、塗料、除草剤、日常的に使用されている洗剤、柔軟剤、消臭剤、芳香剤などが挙げられます。個別に化学物質に対する適応能力が異なるため、個人差が非常に大きく、誰でも発症リスクがあることが指摘されています。

自分には快適な香りでも、不快に感じたり、体調を崩したりする方もいます。この疾患をご理解いただき、ご配慮をお願いします。

周囲への配慮

- ①人が集まる場所では、柔軟剤、香水などの香りが過度にならないように、使用を控えるなどの配慮をしましょう
- ②農薬などを使用する際は、事前に近隣へ周知し、農薬の飛散防止に努めましょう

予防対策

使用量を最小限にする
殺虫剤、柔軟剤、消臭剤、芳香剤などには多くの化学物質が含まれているので必要以上の使用を避けましょう。

原因場所での滞在時間を短くする
症状を誘発する可能性のある場所やものに近づかない、その場所からできるだけ早く離れましょう。

十分に換気する
1時間に5分程度の換気を行いましょう。窓を閉め切るときは換気扇を回しましょう。

健康状態をなるべく良好に保つ
十分な栄養や休息を取りましょう。

